

令和8年度 中学校英語教育推進リーダー研修 実施要項

1 目的 「英語教員の新たな学びの姿」の実現に向けて、授業づくりのモデルとして招聘した中学校英語教員とともに、短期・中期・長期の授業づくりのビジョンを構想しながら協働的に学ぶことを通して、これからの英語教育を推進していくリーダーとしての資質の向上を図る。

2 対象 中学校、義務教育学校（後期課程）、府立支援学校中学部

募集人数 40名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	5月28日(木) 14:00～17:00	英語教員自身の「学びの転換」と「新たな学びの姿」の実現に向けた探究 －言語活動を中心とした授業づくり1－ 〔講義・協議・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等 市町村立中学校 義務教育学校 教諭等
2	7月8日(水) 14:00～17:00	英語教員自身の「学びの転換」と「新たな学びの姿」の実現に向けた探究 －言語活動を中心とした授業づくり2－ 〔協議・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等 市町村立中学校 義務教育学校 教諭等
3	11月11日(水) 14:00～17:00	英語教員自身の「学びの転換」と「新たな学びの姿」の実現に向けた探究 －言語活動を中心とした授業づくり3－ 〔協議・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等 市町村立中学校 義務教育学校 教諭等
4	1月22日(金) 14:00～17:00	年間を通じた授業実践の検証 〔実践発表・協議・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等 市町村立中学校 義務教育学校 教諭等

4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
 - (3) 大阪府教育センターに、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
 - (4) (受講決定後～当日) Plant で、事前連絡や課題等がないか確認すること。
- 6 担当室 小中学校教育推進室

個別募集

1 目的

「英語教員の新たな学びの姿」の実現に向けて、授業づくりのモデルとして招聘した中学校英語教員とともに、短期・中期・長期の授業づくりのビジョンを構想しながら協働的に学ぶことを通して、これからの英語教育を推進していくリーダーとしての資質の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期										○	○	○			
第2期										○	○	○			
第1期															
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	英語教員自身の「学びの転換」と「新たな学びの姿」の実現に向けた探究 一言語活動を中心とした授業づくり1ー	自身の授業づくりについての課題を見出し、本研修の見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・演習を通して、これまでの授業実践を振り返りながら、これから探究していく目標と探究課題を設定する。 ・講義、協議を通して、授業力向上に向けて大切にしたい視点を共有する。 	事前課題 事前アンケート及び直近で実践した自身の学習指導案を提出する。 準備物 自身が必要とする資料一式
2	英語教員自身の「学びの転換」と「新たな学びの姿」の実現に向けた探究 一言語活動を中心とした授業づくり2ー	現時点での実践の成果や課題を明らかにしながら、自身の立てた目標と探究課題に向けて自己調整を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・演習を通して、見通しを持って目標と探究課題に取り組むための実践について計画する。 ・協議を通して、校内や域内の教員と協働的に取り組んだ実践に係る成果や課題について考える。 	準備物 自身が必要とする資料一式

3	<p>英語教員自身の「学びの転換」と「新たな学びの姿」の実現に向けた探究</p> <p>－言語活動を中心とした授業づくり3－</p>	<p>現時点での実践の成果や課題を明らかにしながら、自身の立てた目標と探究課題に向けて自己調整を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・演習を通して、自身の計画をもとに、目標に向かって実践している内容に係る成果と課題を明らかにしながら自己調整を図る。 ・協議を通して、校内や域内の教員と協働的に取り組んだ実践について考える。 	<p>準備物</p> <p>自身が必要とする資料一式</p>
4	<p>年間を通した授業実践の検証</p>	<p>次年度に向けて具体的な目標やアクションプランを設定し、見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・演習を通して、今年度の成果や課題を振り返り、次年度の授業づくりの展望を共有する。 ・実践発表、協議を通して、校内や域内の教員と協働的に取り組んだ実践について検証し、次年度の具体的な取組み等について交流する。 	<p>準備物</p> <p>自身が必要とする資料一式</p>